

2008.02.27 (水) 18:00

大阪大学医学部附属病院外来棟 4 階  
第 1 カンファレンスルーム

## 第 37 回未来医療セミナー

### Positron Emission Tomography 再生医療への応用

大阪大学大学院医学系研究科  
放射線統合医学講座(核医学) 教授  
畑澤 順 先生

今世紀になって、核物理学、材料工学、医用工学、コンピュータ科学、放射薬学の進歩とともに生体機能画像法が急速に進歩し、分子レベルの病態解析を目指した分子イメージングが展開されている。中でもPET は、中枢神経疾患、悪性腫瘍、心疾患の分子病態を画像化する手法として期待されており、本学でもPET装置の開発、標識薬剤の開発、新規治療法の効果判定、薬物動態解析が着々と進行している。再生医療の多くでは、分子病態への介入が試みられており、また治療効果は臓器・組織の代謝や機能の変化(形態的变化に先行して)として現れる。医学部附属病院や実験施設におけるPET分子イメージングの基盤整備の現状と今後の応用の道程について紹介する。

連絡先：未来医療交流会（大阪大学医学部附属病院未来医療センター内）

Tel:06-6879-6557/6551, Fax:06-6879-6538

E-mail:koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp

<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp/>

協賛：大阪大学21世紀COEプログラム「細胞・組織の統合制御にむけた総合拠点形成」

- Center for Integrated Cell and Tissue Regulation -